

FS山行

樺戸山塊 浦白山 (718.3m)

浦白山は、樺戸山塊の端に位置していて、ここから樺戸山、隈根尻山、マチネシリ、ピンネシリ、神居尻山へと続いている。

学生時代、山のサークルでの初めての本格的な冬山山行としてトレースしたルートだ。

大晦日に国鉄札沼線に乗って浦臼駅でおり、小雨が降る中、途中の農家の納屋で雨宿りさせてもらったり、山中では雪庇が崩壊してひっくり返ったりと思い出深いものだった。

今回は、札幌から日帰り可能な浦白山へ登り、そこから少し樺戸山方面に足を伸ばし威風堂々としたマチネシリ、ピンネシリを眺めることを目的に計画した。

2015年3月7日

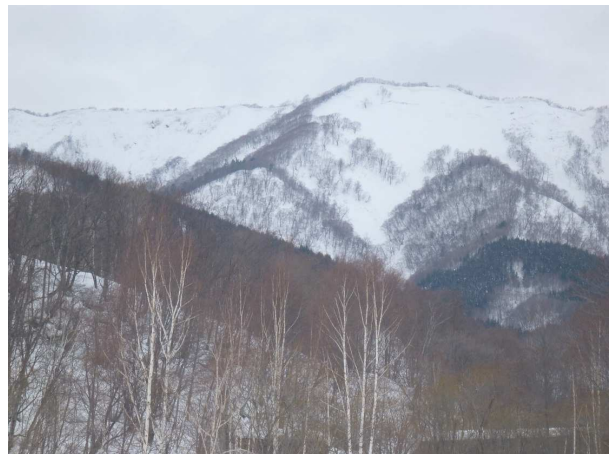
L 山本 M 千葉、小野睦、飯田（元会員）

9:30 conta70m 車デポ地

12:10 conta570m 左尾根トラバース

13:00 山頂着

15:20 車デポ地着





計画では、夏道の登山口であるコタ 249m の砂防ダムから夏道を往復する計画だったが、砂防ダム上部から浦白山南東尾根に取り付くことにする。

JR 札沼線浦臼駅から滝田川沿いに車で 15 分程度の場所 (コタ 70m) に車をデポ。除雪されているのは、残念ながらここまでだった。遠くに目的の浦白山が望める。



コタ 570m 地点以降は樹林帯もなく、上部が全層雪崩の前兆があるため左の樹林帯のある尾根にトラバースする。

斜度があり緊張する。一人一人距離をとって通過する。

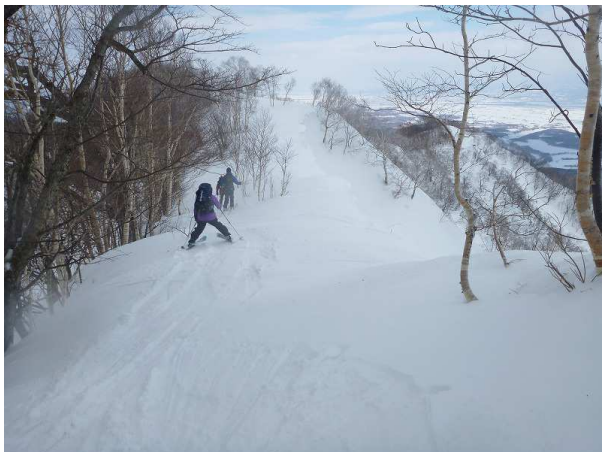


トラバース後の尾根も右側は、いたるところにクラックが走っていて全層雪崩の兆候が見受けられた。浦白山の山頂でお茶を沸かし、ゆったりとした後に夏道沿いに下山。

浦臼の町に吸い込まれていくように滑走した。山頂では、生憎の空模様で、期待していた眺望は望めなかった。



全体的に斜面がクラストしており、部分的に尾根も細く雪庇も張り出していて、滑りは大変難儀した。



(山本 記)